

都鲁川伊切算((十一×4))

3 学期の始業式に、子どもたちに「おもいやり算」の話をしました。

「+・・・たすけあう」「-・・・ひきうける」「×・・・声をかける」「÷・・・分けあう」

人を笑顔にする算数。おもいやり算。

これは、私がつくった話ではありません。今から8年ほど前のACジャパンのCMです。よくできたCMです。みんなが、おもいやり算のように行動できたら、ずいぶんと住みよい社会になるはずです。しかし、これが簡単そうで難しいのです。恥ずかしい話、私自身が、わかっていてもなかなか実行できていません。だから、「今年の私の抱負は、おもいやり算ができる人になることです」という話を子どもたちにはしました。

「+・・・たすけあう」が難しいのは、自分のことで精一杯だからでしょう。人が大変な時は自分も大変な時が多く、「助けてほしいのはこっちだよ」と言いたくなる時があります。また、「それはあなたの仕事でしょ」と自己責任という言葉を都合よく使って逃げている時もあります。でも、自分のためだけに生きる人生なんてつまらないと思うのです。忙しい中にも何かできることがあるはずです。無理せず小さなことから「たすけあう」を始めたいと思います。

「-・・・ひきうける」が難しいのは、それが面倒な仕事であればあるほど「なんで自分が?他にも人はいるでしょ!」という気持ちがわき上がってくるからでしょう。でも、本当に他に人がいるでしょうか。その仕事は自分にしかできない仕事かもしれません。面倒くさそうなその仕事の中に、新たな発見や出会いがあるかもしれません。そう信じて自分にできることは「ひきうけたい」と思います。

「X・・・声をかける」が難しいのは、どう声をかけてよいかわからなかったり、声をかけることで逆に自分自身が傷ついてしまうことをおそれたりするからでしょう。心配してせっかく声をかけたのに、「はっ?」とか「うるさい!」なんていう返事が返ってきたり、無視されたりすると傷つきますから。でも、大切なことは「その人のために何かできることはないか」という気持ちだと思います。たとえ自分が傷ついたとしても、良心にしたがって行動し、「声をかけたい」と思います。

「÷・・・分けあう」が難しいのは、心のどこかに「独り占めしたい」「自分が得をしたい」「自分がほめられたい」という気持ちがあるからでしょう。でも、自分がどんな人間になりたいかを考えた時、たとえ一人分の量は減っても、「おいしいね」と誰かと喜び合える方が幸せだと思える人間になりたいのです。分かち合う喜びを感じながら「分けあいたい」と思います。

まず自分自身が、そして七区小学校のみんなが、おもいやり算を実践していく I 年にできたらいいなと思っています。

令和2年度の教育に関する総合調査の結果の概要について

2学期半ばに、保護者の方にもアンケートにご協力いただいた「教育に関する総合調査」の結果がまとまりましたので、その概要をご報告します。岡山市の平均と比較しながら七区小学校の特徴や私どもの取組の成果と課題を明らかにしたいと思います。

【児童アンケートの結果から】

①肯定的回答率が岡山市の平均を上回っている項目

質 問 文	七区小	岡山市	比較
私は,今住んでいる地域や岡山市の歴史に興味や関心がある。	88.1%	58.1%	+30%

市の平均を 30%も上回ることは、まずないことです。これは、七区小の子どもたちの大きな特徴であり、大切にすべき長所だと思います。地域の自然についての興味・関心の項目でも、市の平均を 26%も上回っています。ボランティアティチャーの方々のご協力で実現できている農業体験活動や地域学習が、子どもたちに大きな影響を与えていると考えます。子どもたちの学習にご協力いただいている地域の方々に改めて感謝したいと思います。

質 問 文	七区小	岡山市	比較
私は,自分で計画を立てて勉強している。	82.1%	62.3%	+19.8%

七区小では、「ななっ子学習」という自主勉強の取組を行っています。その中で、計画を立てて学習する意識を子どもたちが持つようになってくれたことは、大変うれしく思います。この項目の結果を経年変化で見ると、H30年度 68.9%だったものが RI 年度に 77.2%になり、今年度 82.1%となりました。子どもたちの意識の高まりが感じられます。

質 問 文	七区小	岡山市	比較
私は,早寝早起きをするなど規則正しい生活をしている。	85.5%	70.0%	+15.0%

何よりもご家庭での支援があってのことです。学校では「元気アップ作戦」等の取組をしております。その取組についても、保護者の皆様のご協力のおかげで、子どもたちの意識を高めることができました。その他「ゲーム等長時間にならないように気を付けている。」や「家の手伝いを進んでしている。」という項目でも、子どもたちの肯定的回答率は岡山市の平均を 10 %以上上回っています。保護者の皆様のお力のおかげだと考えます。

②肯定的回答率が岡山市の平均を下回っている項目

質 問 文	七区小	岡山市	比較
私は,食事のとき,好き嫌いなく食べている。	72.6%	76.6%	-4.0%

七区小の子どもたちの肯定的回答率が唯一岡山市の平均を下回っていたのが、この項目でした。実はこの項目、昨年度の肯定的回答率は 85.5%もあり、この一年で大きく下降してしまいました。言い訳をすれば、コロナ禍の影響で、給食指導の内容が衛生指導一辺倒になり、栄養指導がほとんどできなかったという現状がありました。今後は、コロナ禍にあっても、衛生指導と栄養指導を両立できるよう努力していきたいと思います。

【保護者アンケートの結果から】

①肯定的回答率が岡山市の平均を上回っている項目

質 問 文	七区小	岡山市	比較
私は,地域の子どもたちに積極的に声かけをしている。	75.6%	63.5%	+12.1%

保護者の皆様が、我が子だけでなく地域の子どもたちみんなのことを気にかけてくだっていることがよくわかります。子どもたちを地域全体で見守り育てていこうとする意識の高さを感じます。

質 問 文	七区小	岡山市	比較
私は,子育てを通して,子どもの郷土を愛する心が育ってき	87.2%	76.2%	+11.0%
ていると感じる。			

子どもたちの自覚と保護者の皆様の認識は一致していて、七区小の子どもたちの「郷土愛」は、他校に類を見ない高さだと感じます。保護者の皆様が地域を大切に思い、誇りに感じていらっしゃるからこそ、子どもたちにその思いが育つのだと改めて感じました。

質 問 文	七区小	岡山市	比較
学校は,教育活動の様子や情報をよくわかるように伝えている。	96.5%	85.7%	+10.8%

時々、保護者の方から、学校だより「時計台通信」のご感想をいただくことがあります。とてもうれしいです。そしてありがたいなと思います。もちろん、学校からの情報発信は、学校だよりだけではないですが、今後も精一杯子どもたちの様子を伝え、思いを書いていこうと思います。

②肯定的回答率が岡山市の平均を下回っている項目

質 問 文	七区小	岡山市	比較
あなたは、計画的に勉強するように子どもにうながしている。	82.6%	86.7%	-4.1%
あなたは、年齢に応じた家庭の役割を子どもにあたえている。	75.6%	79.8%	-4.2%

上の二つが岡山市の平均を少し下回った項目です。でも,不思議ではないですか?児童アンケートの結果では,「計画的に勉強している子」が市の平均を 19.8%も上回り,「家の手伝いを進んでしている子」も市の平均を 11.1%上回っていました。保護者の皆様が促したり役割を与えたりしているわけではないのに,子どもたちは,計画的に勉強し,進んで手伝いをしているということです。言われて勉強しているのではなく,手伝いをやらされているわけでもないのです。子どもたちは,保護者の皆様の後ろ姿を見て育っているということだと思います。

通学路の橋と陸橋そして公園がきれいになりました

3学期が始まって、ふと陸橋を見ると、あの錆だらけだった陸橋にきれいにペンキが塗られていました。五条や三条の川に架かる橋もきれいにペンキを塗られていました。そして、学校横の公園の遊具もです。

誰が塗ってくださったのか知りたくて問い合わせをした所, 西七区の町内会の皆様が, お正月返上で, ペンキを塗ってくださったことがわかりました。

そのご厚意が本当にありがたく, うれしく思いました。 西七区の町内会の皆様, 子どもたちの安心・安全のため に, ご尽力いただき, 本当にありがとうございます。お かげで, 子どもたちは気持ちよく安心して登下校できて います。





